

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	小金井市防災会議		
事 務 局 (担 当 課)	総務部地域安全課 防災消防係		
開催日時	令和2年10月12日(月) 午前9時30分～午前10時13分		
開催場所	小金井市役所本庁舎3階 第一会議室		
出席者	委 員	会 長：西岡 真一郎 委 員：知久馬 悠輔・富田 英昭・住野 英進・大熊 雅士・大橋 一朗・田村 裕一・鳥越 千尋・西崎 邦博・相原 朋子・浅野 康弘・澤田 峻佑・山岡 聡文・鈴木 陽子・川畑 美和子・緒方 澄子・田川 尚子・森田 純司・笠原 富美子・延毅彦・佐藤 義明・土屋 義弘・中村 哲 代理出席：五十里(多摩府中保健所)・高山(小金井警察署)	
	事務局	加藤 総務部長・宮奈 課長・原嶋 係長・川端 主事	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 令和2年度小金井市総合防災訓練の実施について 2 新たに作成したマニュアル等について 3 小金井市地域防災計画の修正について 4 その他 防災マップの作成について		
会議結果	資料に基づき事務局が説明を行い、審議の結果、原案のとおり決定・承認された。		
提出資料	資料1 小金井市防災会議委員名簿 資料2 小金井市防災会議条例 資料3 令和2年度小金井市総合防災訓練実施要綱(案) (別添) 令和2年度小金井市総合防災訓練体系(案) 令和2年度小金井市総合防災訓練進行表(案) 資料4 令和2年度小金井市総合防災訓練実施細目(案) 資料5 訓練会場案内図 資料6 警戒本部態勢マニュアル 資料7 小金井市避難勧告等の判断基準 資料8 避難所開設における感染症対策方針 資料9 小金井市自主避難所運営マニュアル 資料10 小金井市地域防災計画の修正について(案) その他 小金井市防災マップ(令和2年度版)		

審議経過（主な発言要旨等）

1 開会

2 会長挨拶

3 委員の紹介

前回会議以降変更になっている委員（28人中11人）を順番に紹介した。

防災会議委員名簿において、東京電力パワーグリッド株式会社武蔵野支社長が前支社長名であったので、鳥越千尋氏と訂正して紹介した。

4 資料説明

資料1～10の確認

5 議題及び審議結果

(1) 令和2年度小金井市総合防災訓練の実施について

（会長）

事務局から説明をお願いします。

（事務局 川端）

「令和2年度小金井市総合防災訓練の実施について」資料3～5に基づき説明した。

（会長）

新型コロナウイルス感染症の状況下の訓練として、対象者を絞り実践的な訓練を行うものです。何かご意見ご質問ありましたら宜しくお願いします。

（小金井市障害者地域自立生活支援センター 森田委員）

対象者を絞った訓練ということですが、訓練の見学、市民への周知、あるいは私たちが持場に帰った時の周知の方法はどのように行えるかを教えていただければと思います。

（事務局 原嶋）

今回の小金井市防災訓練につきましては、基本的には密を避けるということで市民の方々を集める訓練は行いませんので、周知ということは考えておりません。

（会長）

事務局から説明があったとおりでございます。一方、参加をされた皆様方には、訓練で得られた様々な知見、重要性などについて関係者の方々に共有をしていただきたいと思いますと考えております。

他にございますか。

それでは無いようですので、今後、修正などが発生した場合には事務局にご一任をいただきたいと思います。

(2) 新たに作成したマニュアル等について

(会長)

事務局より説明をお願いします。

(事務局 原嶋)

「新たに作成したマニュアル等について」資料6～9に基づき、説明した。

(会長)

ただいま、事務局より説明がございました。

皆様方から、ご意見ご質問などございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。最後に「その他」もありますので何かご意見等ありましたら、そちらのほうでお願いします。

(3) 小金井市地域防災計画の修正について

(会長)

事務局より説明をお願いします。

(事務局 原嶋)

「小金井市地域防災計画の修正について」資料10に基づき、説明した。

(会長)

ただいま、事務局より説明がございました。

この件につきまして、何かご意見などございましたらお願いいたします。

現在、小金井市が直面している最優先課題のひとつに庁舎建設がありまして、新庁舎と（仮称）新福祉会館は複合施設として建設する予定です。6月2日には設計会社と契約を結びまして、現在設計の最終工程であります実施設計を進めているところです。新たな防災拠点となるもので、しっかり作業を進めてまいります。

特に無いようでしたら、小金井市地域防災計画の修正については以上に基づき進めてまいりますのでよろしくをお願いいたします。

(4) その他

(会長)

その他について何かありますでしょうか。

(事務局 宮奈)

本年8月に全戸配布した「小金井市防災マップ」について説明した。

主な改訂点 ・適切な避難行動の記事

・自主避難所の記事

・浸水予想区域図

・土砂災害警戒区域、避難所（土砂災害） など

(会長)

既に全戸配布したところでございます。ぜひ有効に活用いただければと思います。

昨年10月の台風19号では、小金井市として初めて避難勧告を出したところです。防災行政無線がなかなか届きにくい中、小金井市消防団にポンプ車でのご報告活動や、また土砂災害警戒区域には戸別に訪問していただき、避難の呼びかけを行ったところです。

今後もこれから台風が頻発する時期を迎えているところでございます。引き続きしっかり関係機関の皆様と連携をとって風水害に備えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

その他のところで何かございますか。

(公募 中村委員)

今日は避難所の話が多かったのですが、水害と地震の場合では考え方が変わると思います。水害の場合はできるだけ早く避難所へ、ですが、地震の場合はあまり避難所へ来いということとは言わなくてもいいのではないかと。それよりも自宅にとどまり、自分の身、家族や近所の人を守る。火事が発生してないか、発生したらみんなで消す。そういうことのほうが大事だと思います。最近の防災に関する動向を見ますと、在宅避難ということがかなり重要視されているようです。感染症対策としてもできるだけ人が集まらないほうが良いです。在宅避難ということをごからの小金井市の防災計画の中にぜひ入れていただきたいと思っております。

(事務局 宮奈)

委員のおっしゃる通り、避難のあり方というのが少し変わってきていまして、在宅避難の活用というのが最近クローズアップされてきているところです。防災マップにも記載しておりますが、避難というのは「難」を避けるということで、ご自宅が安全であればそちらにいて避難所に行く必要がないという考えでございます。風水害のときには防災マップを見て自分の地域を確認し、建物が2階であれば上のほうに避難する垂直避難という考え方もございます。何かあったら必ず避難所へ行くというものではないということ、市民の方々に周知を図り、地域の防災力を高めていきたいと思っております。

(会長)

貴重なご意見ありがとうございました。

一件情報提供ですが、地震対策には大切なことがたくさんありますが、建物対策というものもそのひとつと考えております。そのような関係もあり、木造住宅の耐震診断及び耐震改修について今年度から補助スキームを拡充しました。耐震診断は上限10万円、耐震改修は上限60万円ということで、これまでより助成額を拡大しているところです。建物に関する心配ごとや、何か気になるという方がいらっしゃれば、この制度があるということもご念頭に置いていただければ幸いです。担当は都市整備部まちづくり推進課で申請を承っておりますのでよろしくお願いいたします。

その他、何かございますでしょうか。

それでは以上を持ちまして令和2年度第1回小金井市防災会議を終了させていただきます。

本日は何かとお忙しい中、委員の皆様方にはお集まりいただきまして誠にありがとうございました。